JEMEA 活動報告

第 6 回 JEMEA 若手サマースクール開催報告

The 6th JEMEA Young Working Group Report

九州大学大学院農学研究院　椿 俊太郎
Faculty of Agriculture, Kyushu University, Shuntaro Tsubaki
〒819-00395 福岡県福岡市西区元岡 744
e-mail: tsubaki.shuntaro.318@m.kyushu-u.ac.jp

2023 年 8/31(木)-9/1(金）の日程で、福岡国際会議場および九州大学伊都キャンパスにおいて、「第 6 回 JEMEA 若手サマースクール～マイクロ波化学入門セミナー」が開催された。九州地方を中心に、マイクロ波化学の基礎について、網羅的にダイジェストする企画であり、特に若手向けのマイクロ波基礎講座を志向して企画された。参加人数は総勢 52 名（講師 8 名含む）で、内訳は社会人 29 名、学生 23 名となっており、過去最高の参加者数となった（Fig. A)。マイクロ波化学入門での概論の紹介に続き、マイクロ波工学、高分子化学、触媒化学、生命科学、材料科学、化学工学の基礎について、特に学生が基礎を体系的に学ぶ機会となった。初日は講義に引き続いて、学生を中心とする若手によるポスター発表も行われ、若手参加者自身の研究内容について発表し、参加者と議論を深めた（Fig. B)。ポスター発表会と並行して同会場で交流会も行われ、参加者の交流を深めた。その後、場所を福岡市内の居酒屋に移して、懇親会を行った。福岡の新鮮な地魚の活き締め専門店にて、季節の魚の刺身や地酒、焼酎を楽しみながら、さらなる活発な議論が続いた。2 日目の講義の後には、エクスカーションとして九州大学大学院工学研究院の大野研究室と、同農学研究院食品製造工学研究室の見学会も実施した。その後は、九州大学伊都キャンパスの最寄りの杉能舎に場所を移し酒蔵見学を行うとともに、名物のクラフトビールを堪能した。

本企画は、2024 年に九州大学にて開催予定の 5GCMEA 2024 のテストイベントも兼ねて、開催された。九州地方の実行委員やそれぞれの研究室の学生が参加することにより、九州発のマイクロ波研究の絆が深まった。また、5GCMEA 2024 の会場となる九州大学椎木講堂を視察するとともに、エクスカーションの導線も確認した（Fig. CD)。JEMEA 若手 WG の古参メンバーは、もはや若手と言えない年齢に到達しつつあるが、今回、20-30 代の学生や若手研究者が多く参加し、JEMEA 若手 WG が次世代に継承されつつある。若いエネルギーを巻き込んで、来年の福岡での 5GCMEA 2024 を盛り上げていきたい。

最後に、ご支援をいただいた協賛団体、並びに、九州大学 エネルギー研究教育機構モジュール「マイクロ波援用高度炭化水素循環技術の開発」、環境再生保全機構環境研究総合推進費に感謝申し上げます。

【講師と講義内容】

マイクロ波化学入門　堀越 智 先生　（上智大学）

材料化学（材料科学―2050CN を目指した製鉄への応用）

大野　光一郎　先生　（九州大学）

触媒化学（マイクロ波を利用した触媒反応）　永長　久寛 先生　（九州大学）

高分子化学（電子レンジでプラスチックを料理するには）

池永 和敏　先生　（崇城大学）　オンライン

化学工学（ASEAN 地域の持続可能な発展を目指した藻類からのバイオエネルギー開発）

アルマンド　キタイン 先生　（熊本大学）

マイクロ波工学　装置（マイクロ波加熱の基礎）　三谷 友彦 先生　（京都大学）

マイクロ波工学　計測　二川　佳央 先生　（国士舘大学）

生命科学（バイオ技術のマイクロ波加熱の応用）　大内　将吉　先生　（九州工業大）

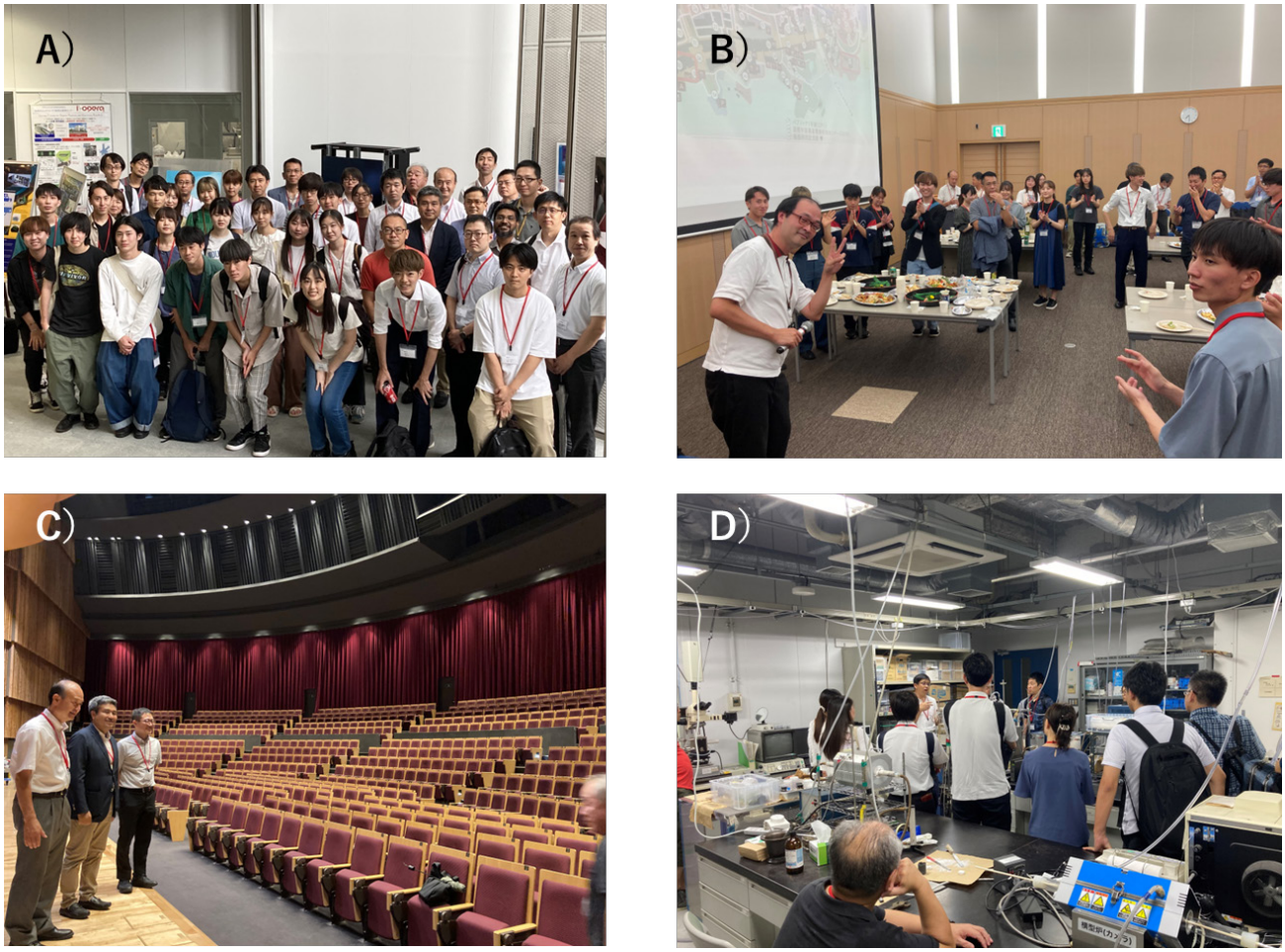

Figure. 第 6 回 JEMEA 若手サマースクールの様子。A) 全体写真、B) 交流会、C) 椎木講堂見学、D)研究室見学。